

2023年9月27日 秋季学位記授与式 式辞

静岡県立大学学長 尾池和夫

今日、学位記を授与された方々、まことにめでたうございます。静岡県立大学の教職員を代表してここからお祝いを申し上げます。皆様のご家族にもお慶びを申し上げます。ご家族と友人たちの支援があって、また皆さん自身の努力があって、学位記を授与される日を迎えました。学習の長い道のりには、世界的な感染症の流行があったり、自然災害があったり、戦争が起こったり、世界のさまざまな場面がありました。また、さまざまな楽しいことも甦ってくることでしょう。そのような中で、今日を迎えられ、学位記を手にしたことが、きっと皆さまの一生の宝となります。

今回の卒業式、学位授与式で学位を得られたのは、国際関係学部の3名、経営情報学部の1名、短期大学部社会福祉学科の2名、大学院博士後期課程薬食生命科学総合学府修了の4名、薬食生命科学総合学府に論文を提出して博士学位を得られた2名、合計12名の方々です。

この中で、博士学位を得られた方々の論文審査報告を読ませていただきました。薬食生命科学総合学府薬食生命科学専攻の Antara Ghosh (アンタラ ゴッシュ) さんの論文はアスタキサンチンという、機能性食品成分の有効活用を目指した研究に関するものです。この成分は健康寿命の延長のために有効活用が期待されている高い抗酸化機能を持つものですが、難水溶性で、かつ化学的安定性が低いために、その機能を十分に活かすことができない状況です。この研究は、ナノ製剤技術を応用して新たな投与形態を開発することに成功したもので、学位論文として高く評価されました。

また、薬食生命科学総合学府環境科学専攻の Md. Khadimull Bashar (ムディ カディマル バシャー) さんの論文は、バングラデシュ河川の重金属汚染調査と米摂取によるリスクの評価という内容です。バングラデシュの工業化による環境汚染と土壌中の自然起源のヒ素汚染が社会問題となっています。これらによる河川水や地下水が灌漑用水として利用されることによる米の汚染と、炊飯の時の地下水の利用による人への影響が深刻な問題です。バングラデシュは米消費量が多い国の一つであり、水環境の悪化が与える人の健康へのリスクを解明することが研究の目的でした。研究の結果、重金属汚染は稲の品種によって変化することは期待できず、水管理で水質を向上させ、重金属を封じ込め、大気汚染を改善して米の鉛汚染を低減しなければならないことなど、重要な知見が得られました。

その他、薬学系の論文博士の2名の方たちの研究は、薬剤の開発に関する研究をまとめられたものです。私は1997年以来、循環器のトラブルで入退院を繰り返しており、多くの種類の薬品にお世話になっています。そういう意味でも私自身、たいへん興味深い分野でもあります。

本日、皆さんの手元にある学位記は、皆さんの長い年月の努力で得られた学位の証明です。それぞれの学位の名にふさわしい職場を得られ、研究分野の知恵を活かしながら、これから世界のさまざまな舞台で活躍していただきたいと願っています。

皆さんたちが学習と研究を続けてきた草薙キャンパスの並びには、県立美術館があります。また、小鹿キャンパスの近くには登呂遺跡があり、タミヤの本社があります。そのような近くの場所に、在学中に行かれましたでしょうか。今年10月17日から県立美術館では、細川家の保存する文化財を展示して「大大名の名宝」という特別展が開催されます。皆さんは卒業して学生証を返納すると、県立美術館に無料で入場する権利がなくなります。そこでこの特別展の招待券を頂いておきました。それを私からのお祝いに進呈いたします。

今後とも心身の健康に十分留意されて、楽しく人生を送っていただきたいと思います。そして、ときには母校を思い出して訪れていただき、その発展を見ていただきたいと思います。そして後輩の学習をご支援くださるようお願いいたします。皆さんの健康で、輝かしい未来を祝福して、私の式辞といたします。

ご卒業、学位授与、まことにおめでとうございます。

ありがとうございました。